

いのち環境ネットワーク代表 加藤やすこ

翻訳家 Tony Boys

翻訳家 Pat Ormsby

要請文「国際アピール：地上と宇宙での5G廃止に向けて」提出と取材のお願い

2020年春から日本でも第5世代移動通信（5G）が始まります。5Gは今まで通信に利用されてこなかった、エネルギーの強いミリ波や、フェーズドアレーという技術を利用しますが、その安全性はいまだに立証されていません。5Gが開始されれば、皮膚ガンや失明、流産、発達障害などの増加、バクテリアや昆虫、動植物を含む生態系全体へのダメージが起きると指摘されています。

さらに、5G通信用人工衛星から照射される電波が、地球のシューマン共振に作用する可能性もあり、アメリカの研究者アーサー・ファーステンバーグ氏は、5Gの停止を求める「国際アピール：地上と宇宙での5G廃止に向けて（International Appeal to Stop 5G on Earth and in Space）」（<https://www.5gspaceappeal.org/the-appeal>）を公表しました。この文書は30か国語に翻訳され、世界中の科学者や技術者、医師、医療関係者、獣医、養蜂家、研究者、市民団体、市民などから19万100筆の署名を集めました（<https://www.5gspaceappeal.org> の”SIGNATORIES”をクリックすると、署名PDFをダウンロードできます）。

このアピール文は、国連（UN）、世界保健機関（WHO）、欧州連合（EU）、欧州評議会（EC）と各国政府に提出される予定で、1月25日には世界20か国以上で5Gの導入停止を求めるアクションが行われます。同日、ファーステンバーグ氏は、国連でアピール文を読み上げ、ベルギーのブリュッセル市では、国際会議が開催されます。

日本では、私たちが1月24日午後2時30分から参議院議員会館で院内集会を行い、総務省、環境省、厚生労働省との意見交換を行い、アピール文を提出いたします。

ご多忙とは存じますが、取材していただけたら幸いです。不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

連絡先

札幌市中央区盤渓471 加藤やすこ 電話 011-613-1984 voc-emf@mbn.nifty.com

「国際アピール:地上と宇宙での5G廃止に向けて」要望項目

私たちは、国連、世界保健機関、欧州連合、欧州評議会と 各国政府に対し呼びかけます:

(a) 人類すべて、特に胎児、乳幼児、児童、青少年と妊婦、また地球環境を守るために、5G の地上と宇宙での配備を中止するための措置を直ちに行動すること。

(b) 国連子供の権利条約と欧州議会決議 1815 号(電磁波とその潜在的な危険性に関する決議)に基づき、無線電磁波による(成人と子供に対する)健康被害について教師や医師を含む市民に周知し、特に託児所、学校、病院、一般家庭や職場の中、または周辺にある、通信機器や基地局を、なぜ又どのように避けるべきかを周知すること。

(c) 無線通信機器より有線通信を優先させ、それを実現すること。

(d) ロビー団体などを通じて役人などを説得し、無線・通信会社が地上と宇宙に配備される 5G を含む無線電磁波の更なる拡大を許可する決定を禁止すること。

(e) 独立して公平で、利益相反の無い、電磁場や健康を専門とする科学者で構成された国際的なグループを直ちに設立し、電力レベルだけでなく蓄積された被曝歴を考慮した無線電磁波の新しい国際基準を設立し、単に熱効果や人体効果だけでなく、すべての環境と健康を守ること。

(f) 利益相反のない電磁場、健康、生物学、大気物理学の専門の科学者で構成された国際的なグループを直ちに設立し、無線電磁波やロケットの排気ガス、黒いスス、宇宙のごみなどの、オゾン層や地球温暖化、地球上生命の保護に与える影響を考慮し、宇宙の利用方法が人間や環境にとって安全なものであることを約束した包括的な規制の枠組みを構築すること。地上に配備されるものだけでなく、宇宙に配備される技術も、成人・子供・動植物に対して持続可能なものでなければなりません。